

# 3サンハイツせけんばな紙

第 3 号 令和4年2月1日

編集責任者 田島康弘(3-101)  
作成責任者 渡邊芳憲(9-503)  
編集委員 小松清明(10-501)

## 航空写真に見る鴨池地区の変遷

渡邊芳憲(9・503)

資料(鴨池周辺航空写真)

## 昔語り

渡邊芳憲(9・503)

昭和30年代の写真を見ると、鴨池地区の半分が鴨池飛行場となっていたようですが、厳密にいうと滑走路の先は、所有関係はわかりませんが畑となっており、この地域の住民が耕作していました。現に私の祖母も畑を作っていました。私も祖母について畑に行き、祖母が作業している間そこで遊んでいました。飛行機を見たことはありませんでした。その頃は便数もそんなには無かったと思われれます。みんな平気で滑走路を横切っていました。

鴨池中学校の右側に見える白っぽい建物が格納庫だと思えますが、これの全てが格納庫だったとは思えません。40年代初期にも一つだけ白い建物が残っていたのがアポロ(?)で何年前までかまぼこ形の建物が残っていました。跡地は今スカイマーケットになっています。

30年代の写真で、今の三和町を真中で上下に分けている広い道路を右に伸ばした線が現在真砂本町と鴨池新町を分けている大通りです。この道路は駐機スペースとして飛行場が一部出っ張っていますがこの下を貫いて右側の住宅の前に来ています。この駐機スペースには現在、労住マンションと本町公園ができています。

滑走路部分は、よくわかりませんが、多分県庁前の片側二車線の道路あたりになるのではないのでしょうか。

昭和60年



埋め立てられ現在の形に近くなっている。県庁はまだない

昭和40年代初期



滑走路が左(南)に延長されている

昭和30年代



(出典「思い出の鴨池動物園」黙遙社刊)

## 鴨池の町並点描

私は、母方の祖母宅で大きくなりました。祖母宅が在ったのが当時の呼び方で「郡元町真砂7区11班」でした。今の住居表示では真砂町57番の一角でした。範囲はわかりませんが、ここいらは元々市営住宅だったそうで二軒続きの平屋がずらりと並んでいました。払い下げがされたようですがそれがいつのことなのか子どもの私には知るよしもないことでした。

私たちは当時、現在セブンイレブン真砂町店の前の道路を「ひろつば」と呼んでいました。当時の感覚では本当に広い道路という感じでしたが、今見ると何の変哲も無い普通の道路ですね。当時は車もそんなに多くなく(というより、車などおらず)缶蹴りなどの子ども達の恰好の遊び場でした。

そばには防空壕がまだ残っていました。そこでは遊ばないように言われていたため、中の様子はわかりませんが、外形は覚えています。大きな土管を入り口側は高く、奥の方は低くなるようにして埋めたような形でした。入り口側の外側は土

管の端と同じようにふくれていました。いつの年末だったのかわかりませんが、真砂商店街の年末大売り出しの抽選会で祖母に「お前が引いてこい」と言われて、がらがらを回したところ、何等賞かわかりませんが、「遊覧飛行」が当たって、下駄の鼻緒が切れたんですがそのまま、息せき切って帰り「遊覧飛行が当たった」と言ったところ「お前が当たったからお前が乗れ」と言われ、私が乗ることになりました。後日鴨池飛行場からセスナ(多分)で飛びました。今覚えているのは当時真砂公園にあった丸い池が小さく見えていた事です。

# 鴨池歴史散歩

海軍航空隊鹿見島基地跡

真鍋雄一郎 (8303)

鴨池小学校正門のすぐ近くに「海軍航空隊鹿見島基地跡」と刻まれた石碑があるのをご存知でしょうか。

現在の鴨池新町周辺には鴨池飛行場がありました。これは昭和13年に海を埋め立ててつくられた海軍の重要な基地でした。

石碑の裏面には、戦時中はげしい訓練が行われていたことやここを巣立った多くの若者が戦地へと赴いていったことなどが書かれています。

ご存知の方も多いと思いますが、鴨池飛行場は戦後民間空港として、昭和47年まで使用されていきました。現在はサンハイツなど高層建築の並ぶ住宅街となっています。

鴨池の歴史を刻む石碑をぜひ一度ご覧いただきたいと思えます。ちなみに石碑は鴨池小学校創立20周年記念に建てられたものです。

(奥の建物は鴨池小学校体育館)



## 質問箱

前号の「川路利良大警視像台の銘について」に次のご質問が寄せられました。

【質問】

最後の与太話の段で「二」を「ヲ」に変えて読むと云々と書いてありますが、どういうことでしょうか？

【回答】

先ず「聲無キニ聞キ形無キニ見ル」ですが、これは、聞こえず見えないかもしれないが、心を澄まし注意を払えば、隠された真実が見えて来るとのことだと思えます。

これに対して「ヲ」と読むと、無い声が聞こえ、形の無いものが見えてしまうということ、これは妄想を持つことになるから大変だと書いた訳です。

なお、この解釈は全く私の個人的解釈で、どこかの書物に書いてあった訳ではありません。

ご意見・ご質問・ご投稿  
お待ちしております

こんな事を知っている。こんな事がわからない。こんな事を考えているんだがということがありましたらお寄せください。

## 団地内の野草

敷地内では、チガヤ、ヨモギに

次いで多く生えている野草なのではないでしょうか。コンクリートの端の土からコンクリートの上に伸び出しているのが良く見られます。マメ科メドハギの変種で、メドハギは縦に生長するのに対し、

田島康弘 (3101)

地面を這うように横方向に伸びるのでこの名があります。メドハギという名は、小さな葉の様子が針の頭にある穴(メド)に、花がハギに似るためとする説と茎を束ねたものを占いの棒メドギに使い、それが訛ったとの説があるそうです。



## 行事予定

コロナの状況次第で中止もあります 事前の確認を

2月

7日(月) ~ 13日(日)

鴨池校区文化祭

作品展示 7日(月) ~ 13日(日) ☎ 080-8586-8657

舞台発表 12日(土) ~ 13日(日) 担当 久保浩司

9日(水) 火災予防運動の日 (毎月9日) 火災・防災に思いを新たに!

15日(火) ~ 17日(木)

鴨池中学校学年末試験

☎ 099-253-9600

18日(金) 婦人学級(プティエコール)

~元ニュースキャスターによる

自分らしくあがらない話し方講座~ ☎ 099-285-1522

鴨池校区公民館(鴨池小学校内)

1階和室 10時~12時 定員10名

講師 言葉プロデュース代表 池上美弥子さん

申込み締切 2月16日

22日(火)・24日(木)・25日(金)

鴨池小学校授業参観・学級PTA

☎ 099-251-7090

22日(火) 高学年(5・6年生) 各教室

24日(木) 中学年(3・4年生) 各教室

25日(金) 低学年(1・2年生) 各教室

27日(日) 成人学級(ダレデューモナヴェール)

~鴨池地域の成り立ちと減災~

☎ 099-285-1522

真砂福祉館1階洋室 10時~12時

講師 元鹿見島大学教授 大木公彦さん

専門 地球科学 ~人類が誕生した七百万年前以降の南九州の成り立ちの探査・研究

☎ 099-285-1522 は鴨池校区コミュニティ協議会事務局

月・水・金の午前中のみ(祝日休み)